

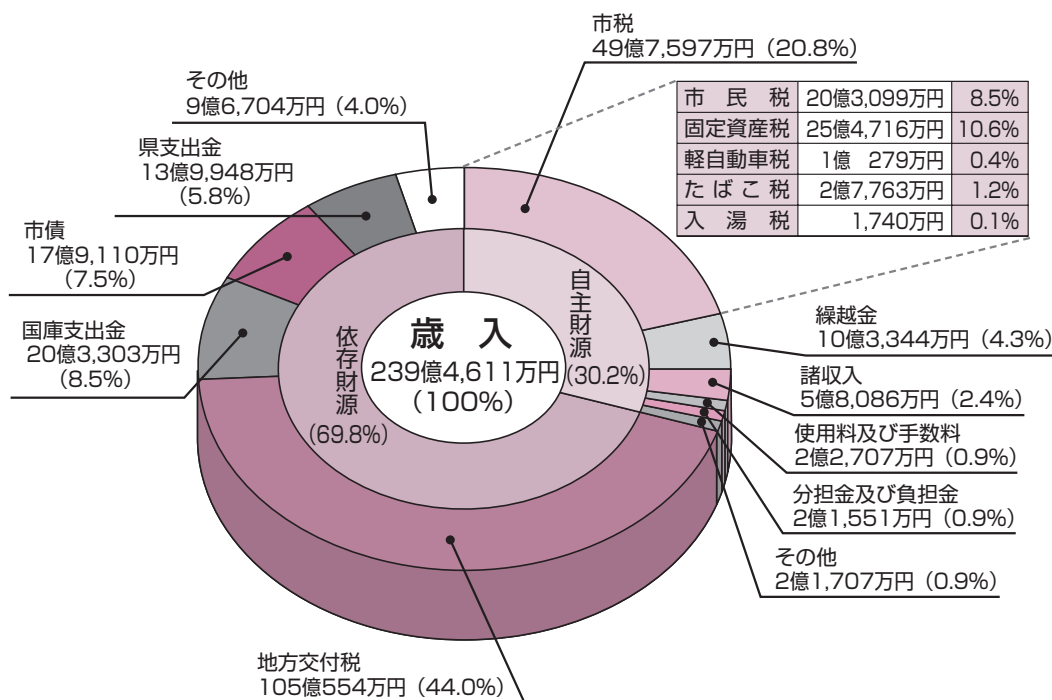
平成23年度決算報告

平成23年度一般会計・特別会計及び上水道事業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されました。

そこで、市民の皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などがどのようなに使われたのかをお知らせします。

歳入については、景気の低迷や東日本大震災の影響により市民税の個人市民税が減収となるなか、企業業績の緩やかな回復による法人市民税の増収に加え震災復興財源としての震災復興特別交付税が交付されるなど所要の財源を確保しました。

歳出については、東日本大震災の災害復旧として市道、公営住宅、保育所、小中学校及び幼稚園等の災害復旧事業、災害復興支援のためのプレミアム付き商品券の発行助成、大震災関係以外では、地域医療の充実を図るための常陸大宮済生会病院支援及び医師確保基金を活用した人材確保研修費付け、林業振興のための高井勝利森を活かし緑の育む基金の創設、教育環境の充実に図るための大宮西小学



自主財源	市が自主的に収入する財源
市税	市民の皆さんや市内に事務所などを持つ法人などに納めていただく税金です。市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税があります。
繰越金	前年度から繰り越したお金です。
諸収入	収入の性質により、他の収入科目に含まれない収入をまとめたものです。延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入などがあります。
使用料及び手数料	市の施設の利用や特定の事務により利益を受ける方から、その受益に対する実費負担的なものとして徴収するお金です。市営住宅使用料や、住民票の写しの交付手数料などが該当します。
分担金及び負担金	市の行う事業により利益を受ける方から、その受益を限度として徴収するお金で保育園の保育料などが該当します。
依存財源	国や県から一定の基準に基づき交付される収入
地方交付税	所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税といった国税の一定割合を財源として、国が一定基準により市に交付するお金です。
国庫支出金及び県支出金	特定の事業に対して、経費の全部または一部として国や県から交付されるお金です。
市債	公共施設の整備などの資金として市が、政府・地方公共団体金融機構・銀行などから調達する長期的な借入金です。

市民の皆さんの市税負担額と市の歳出額

区 分	1人当たり	1世帯当たり
市税負担額	108,437円	288,780円
歳出額	480,508円	1,279,645円

※左記の金額は、平成24年3月31日現在の住民基本台帳人口と世帯数（45,888人、17,231世帯）を用いて算出しています。

<民生費>

障がい者・高齢者の福祉充実、子育て支援などの費用

- ◆ 障害者福祉対策事業
- ◆ 老人医療給付事業
- ◆ 子ども手当、保育所費、延長保育・休日保育実施助成、放課後児童健全育成事業
- ◆ 母子・父子福祉手当支給事業
- ◆ 高齢者福祉対策事業
- ◆ 生活保護事業
- ◆ 防犯対策事業
- ◆ 東日本大震災関係災害救助費など

<公債費>

過去の借入金の返済等に係る費用

- ◆ 元金償還
- ◆ 利子償還

<総務費>

地域振興、税金の徴収、選挙等総括的費用

- ◆ 市内循環バス運行事業
- ◆ 予約制乗合タクシー運営事業
- ◆ 総合計画策定事業
- ◆ 電波遮へい対策事業（地デジ対応アンテナ整備助成）
- ◆ 区運営費
- ◆ 徴税対策費、選挙費など



<教育費>

学校教育、生涯学習、文化・スポーツ振興などの費用

- ◆ 小中学校校舎等の環境整備、備品の充実
- ◆ 山方中学校整備事業
- ◆ 小学校英語指導員、中学校英語指導助手配置事業
- ◆ 中学生海外研修事業
- ◆ 生涯学習推進事業、図書情報館備品購入事業
- ◆ スポーツ教室開催事業
- ◆ 学校給食センター運営費など

<衛生費>

保健衛生、広域聖苑管理運営、ごみ収集等に係る費用

- ◆ 健康診査・予防接種及び結核予防事業
- ◆ 常陸大宮済生会病院運営安定化支援
- ◆ 合併処理浄化槽設置整備事業
- ◆ 広域聖苑管理運営費
- ◆ 大宮地方環境整備組合負担金
- ◆ ごみ収集委託
- ◆ 災害ごみ処理対策など

<農林水産業費>

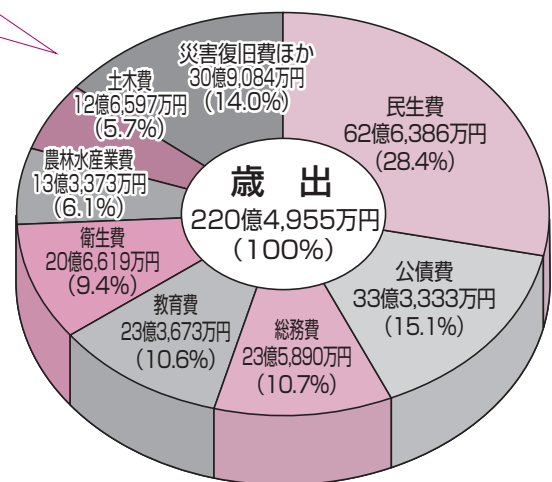
農林道整備及び農林水産業振興等に係る費用

- ◆ 土地改良事業等による農道及び排水路整備
- ◆ 県営負担金事業による基盤整備
- ◆ 林道整備事業
- ◆ 高井勝利森を活かし緑を育む基金設置
- ◆ 木造住宅建設助成事業
- ◆ 森林機能緊急回復整備事業など



校増築工事実施設計や山方中学校改築工事の着手等、多岐にわたる事業を実施しました。また、地方債の発行を抑制し、市債残高縮減に努めました。

一般会計の歳入決算額は23億9,461万1千円、歳出決算額は22億4,955万5千円、歳入と歳出の決算額に18億9,656万円の差があり、このうち平成23年度に完了しなかった事業（繰越事業）に充てる財源8億6,967万円を除いた10億2,689万円は、平成24年度の一般会計予算へ繰り越しています。



<土木費>

道路や橋梁、公営住宅などを整備する費用

- ◆ 市道・橋梁整備事業
- ◆ 公営住宅、都市公園等管理事業
- ◆ 公共下水道事業特別会計繰出金など



<災害復旧費ほか>

災害復旧、消防設備等の整備、商工振興等に係る費用

- ◆ 東日本大震災災害復旧事業（市道、公営住宅、小中学校等）
- ◆ 台風15号等災害復旧事業
- ◆ 消防水利（防火水槽・消化栓等）整備事業
- ◆ 商工会助成事業
- ◆ プレミアム付き商品券発行事業補助
- ◆ 観光振興対策事業
- ◆ 緊急雇用創出事業など

平成23年度特別会計・上水道事業会計 決算額

会 計 名		歳入（A）	歳出（B）	差引（A－B）
国民健康保険	事業勘定	52億79万円	49億9,926万円	2億153万円
	診療施設勘定	1億8,044万円	1億6,640万円	1,404万円
公共下水道事業		6億8,999万円	6億3,771万円	5,228万円
公営墓地		6,455万円	951万円	5,504万円
農業集落排水事業		8億3,751万円	7億6,152万円	7,599万円
介護保険		40億8,935万円	40億4,500万円	4,435万円
簡易水道事業		11億2,737万円	10億5,613万円	7,124万円
宅地造成事業		2,690万円	2,608万円	82万円
戸別浄化槽整備事業		5,906万円	5,728万円	178万円
温泉事業		1億45万円	9,243万円	802万円
後期高齢者医療		4億1,573万円	4億1,469万円	104万円
上水道事業	収益的収支	6億3,928万円	6億4,275万円	▲347万円
	資本的収支	1億1,459万円	2億7,263万円	▲1億5,804万円
合 計		135億4,601万円	131億8,139万円	3億6,462万円

※上水道事業会計の資本的収支の差し引き▲1億5,804万円（不足額）は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

平成23年度末市債の現在高

区 分		現 在 高
一 般 会 計	合併特例事業債	45億4,884万円
	過疎対策事業債	44億284万円
	臨時財政対策債	88億1,775万円
	その他	73億8,193万円
	一般会計 計 A	251億5,136万円
	※Aから地方交付税算入分を除いた市債残高	78億1,038万円
特 別 会 計 ・ 上 水 道 事 業 会 計	国保診療施設勘定	1億4,716万円
	公共下水道事業	32億1,918万円
	農業集落排水事業	42億8,752万円
	戸別浄化槽整備事業	2億751万円
	簡易水道事業	28億9,975万円
	宅地造成事業	1億513万円
	温泉事業	3,190万円
	上水道事業	11億2,413万円
	特別会計等 計 B	120億2,228万円
	※Bから地方交付税算入分を除いた市債残高	71億3,172万円
合計（A＋B）		371億7,364万円
※合計（A＋B）から地方交付税算入分を除いた市債残高		149億4,210万円

※印の項目は、市債のうち合併特例事業債や過疎対策事業債など、毎年度の元利償還額の一部を地方交付税で補てんされる市債があり、それらの市債の残高から補てんされる金額を除いて実際に市が負担する見込み額です。

市民 1 人当たり・1 世帯当たりの基金及び市債の現在高

区 分		1 人当たり	1 世帯当たり
基 金	積立基金	11万 8 千円	31万 5 千円
	定額運用基金	2 万 7 千円	7 万 1 千円
	合計	14万 5 千円	38万 6 千円
市 債	一般会計	54万 8 千円 (17万円)	145万 9 千円 (45万 3 千円)
	特別会計＋ 上水道事業会計	26万 2 千円 (15万 5 千円)	69万 8 千円 (41万 4 千円)
	合計	81万円 (32万 5 千円)	215万 7 千円 (86万 7 千円)

※左記の金額は、平成24年 3 月31日現在の住民基本台帳人口と世帯数（45,888人、17,231世帯）を用いて算出しています。また、市債の「1 人当たり」及び「1 世帯当たり」の（ ）書きされる金額を除いています。



ひたまるさんの家計簿



財政用語が難しい、金額のけたが大き過ぎて実感がわかないと言われることが多いので、市の財政状況を身近に感じてもらえるように、一般会計の決算規模を 1 / 5000 に縮小し、「ひたまるさんの家計簿」として、例えて表現してみました。市の財政と家庭の家計簿では仕組みが違い、完全な置き換えが難しいところが多々あることをご了解ください。

収 入

給料…市税・分担金 及び負担金・使用料 及び手数料など 	実家からの援助…地方 交付税・交付金・国 県補助金など 
122万円 (3万円)	298万円 (17万円)
不動産収入…財産収 入など 	銀行などからの借入 金…市債 
2万円 (▲2万円)	36万円 (▲9万円)
貯金の取り崩し…繰 入金 	前年度からの繰越金… 繰越金 
0円 (0円)	21万円 (10万円)
1 年間の収入合計 479万円 (19万円)	

支 出

※（ ）内はH22との比較

食費…人件費 	電気・水道代など日 常生活費…物件費 	医療費・介護費用な ど…扶助費 
87万円 (▲2万円)	58万円 (3万円)	64万円 (4万円)
ローンの返済…公債費 	家・車の修理代など… 維持補修費 	区会費・祝い金など… 補助費用 
67万円 (0円)	3万円 (0円)	35万円 (2万円)
子どもへの仕送り… 繰出金 	家の増改築・車の購 入代など…投資的経 費（普通建設事業費 ・災害復旧費） 	友人への融資…投資 や出資金・貸付金 
62万円 (4万円)	47万円 (▲7万円)	1万円 (▲3万円)
貯金…積立金 	1 年間の支出合計 441万円 (1万円)	
17万円 (0円)		

次年度への繰越金(収入－支出)
38万円
(18万円)

■ 問い合わせ ■

財政課 財政グループ ☎52-1111 (内線375)